



里のギャラリー 19

ヒヨコあくあく

昨秋の失敗と
今春、夏の慎重

この間、産卵成績が悪く、ご迷惑をおかけしています。ごめんなさい。

いまごろ本当なら、昨年の秋に入れたヒヨコが産卵のピークを迎えているはずなのです。ところが、稲刈り作業に追われて、ヒヨコの世話をおろそかにしたこともあり、うまく育てられませんでした。それが現在の玉子不足につながっています。

右の写真は、この3月に入れたヒヨコたちの一部です。まもなく5ヶ月齢。すでにピヨピヨという声は卒業して、いわゆる大雛(ダイスウまたはオオビナ)と呼ばれる生育段階にまで育っています。

昨年秋のような失敗を繰り返すわけにはいかないと腹をくくり、春～初夏、田んぼ仕事を後回しにしても面倒をみてきました。その甲斐あって、事故もなく、順調に育ってくれました。あと1ヶ月ちょっとしたら産卵が始まると期待しています。

さらに右の写真は、この7月9日に届いたヒヨコと、その2週間後。すくすくと育ってくれています。来年の夏は、ぞんぶんに玉子をお届けしたい、できるはずと思っています。余談ですが、昔から「来年百姓」という言葉が世間にはあるとかないとか……

